

## 日本での交換留学

台北芸術大学  
サイジェニン  
K2690008

お茶の水女子大学へ交換留学生として過ごしたこの一学期は、まるでドラマ『ロングバケーション』で語られる、「神様がくれた休み」のようでした。台湾での仕事や修士論文の忙しさから解放される、日本語の学習に集中し、休日にさまざまな場所を訪れながら、充実した半年間を過ごすことができました。

始まった頃は、自分の語学力に不安を感じていました。しかし、多様なレベルに応じた日本語授業があり、自分に合った学習方法を見つけることができました。最も印象に残っているのは、佐々木先生の「中上級 A 作文・会話」の授業です。この授業は留学生が学術的な文章を執筆することを目的としており、ニュースの読解から、関心のあるテーマに対する意見の述べ方、論証の書き方、そして最終的には約四千字のレポート作成と口頭発表までを学びました。授業を通して、自分の論文のテーマである音楽フェスに関する問題を日本の現状にまで広げて考察することができました。文献読解や執筆の過程で得た知識は、非常に実践的で実りある成果となりました。

学業の傍ら、東大とお茶大の登山サークルである「山岳愛好会雷鳥」に加入しました。最初は台湾で続けていた趣味を日本でも楽しみたいという単純な思いからでしたが、予想以上に日本の山岳知識や登山技術を本格的に学ぶことができました。何度も登山に参加する中で、親切にしてくれたサークルの仲間たちに感謝しています。無事に下山した後は、苦しくも楽しかった瞬間を何度も思い返したものです。

短かった留学生活が順調で素晴らしいものとなったのは、多くの人々のおかげだと思います。毎月の振り返りレポートにいつも温かいお返事をくださった指導教員の内山先生、そして大学生活や日常の疑問に対していつも相談に乗ってくれ、毎月の面談で楽しくお話ししてくれたチューターの猪狩さんに心から感謝申し上げます。また、渡日前から学期間中にかけて、行政手続きを根気強くサポートくださった国際課の担当者の皆様、そして言語交換を通して色々な日本文化を教えてくれた櫛引さん、感謝しています。最後

に、丁寧にご指導くださった小林先生、ビンデリア先生、市原先生、佐々木先生、柏先生、貞安先生、具先生に心から感謝申し上げます。

この「ロングバケーション」は終わりを迎えますが、お茶大で過ごしたかけがえのない時間は、私にとって何物にも代えがたい美しい思い出であり続けると思います。

